野 必勝

14	DF	［不鮮明］	拓也①	富士 ［不鮮明］岡
15	DF	藤井	喬也①	富岡
16	DF	内田	一希①	長泉
17	DF	和田	凌弥①	愛鷹
18	MF	宮崎	和①	高根
19	MF	長谷川	誠伍①	富岡
20	MF	佐藤	海斗①	富岡
21	MF	土屋	光①	富岡JSC
22	MF	藤田	将樹①	富士岡
23	FW	村井	大樹②	富士岡
24	FW	毛利	龍斗①	富岡

【注】学年の白抜きは主将

飛龍戦

裾野は番狂わせを狙っている。1回戦市沼津戦は攻撃陣が奮起し、9ゴールを挙げて大勝。勢いそのままに臨んだ2回戦は伊豆中央を2－1で下した。MF小野太暉主将（2年）は「勝てたことが不思議。ただ、みんなで守ってみんなで攻める全員サッカーができていたと思う」と振り返った。

悲願の県切符獲得のためには先制点が鍵を握る。桜井大輔監督（38）は「逆転できる力はないので先に取って自分たちのリズムにできれば」と話す。中学時代に県大会出場経験がある選手はいないが、地道なトレーニングで力をつけた。普段は攻撃練習に時間を割き、ゴール前の精度に磨きをかけている。中央とサイドを使い分けた多彩な攻撃が最大の武器だ。

今大会チーム最多3得点を決めているMF田中比呂斗（2年）は「チャンスは少ないかもしれないけれど確実にシュートまで持ち込みたい」とイメージをふくらませる。

相手は昨年県大会でベスト4に進出した強敵だが、小野主将は「今まで通り、チーム一丸となって戦いたい。自分たちの代で県大会に出て歴史を刻みたい」と仲間の思いを代弁した。【神谷亮磨】

創部以来初の県大会出場を目指す裾野イレブン

…ーンで強豪に挑む。一方、西部は1次リーグ（L）上位2チームが決勝トーナメント（T）に進出。1次Lで5戦全勝の浜松城北工は7年ぶりの県大会出場をかけて浜松西と対戦する。

城北工 速攻

16	DF	金子	和樹②	磐田［不鮮明］
17	DF	中津川	浩平②	東陽
18	MF	谷川	尚平②	中部
19	FW	鈴木	友裕①	湖西FC
20	DF	福住	晃大①	南陽
21	GK	船橋	健治①	南陽
22	MF	名倉	光①	LIBERO FC
23	DF	今泉	陸②	都田
24	FW	藤田	修多②	LIBERO FC
25	DF	小野村	祥平①	八幡

【注】学年の白抜きは主将

浜松西戦

浜松城北工は得意の堅守速攻で仕掛ける。1次Lはノーシードながら17得点2失点で1位通過。高い位置でのボール奪取を目指し、ショートカウンターから全ての試合で先制点を奪った。MF松下竜也（2年）は「どの試合も相手を様子見できる立場ではない。試合運びはうまくできたと思う」と手応えを口にした。

勝つためのスタイルを確立している。昨夏まではボールをつなぐパスサッカーに徹したが、中盤でボールを保持できずミスから失点する場面が少なくなかった。平野尚監督（51）は「とにかく走って、粘り強くやるしかない」と、戦術を変更。技術では他校よりも劣るが、チーム全体が連動した守備をすることによりDFラインは安定。相手のミスを誘い効果的な攻撃を展開できるようになった。

試合終了まで走りきる体力も自然と身に付いた。現2年生は毎週月曜日のオフを返上して自主トレを行っている。平野監督は「真面目な選手が多い。自分たちがやらなければいけないことを理解している」。

1回戦は県大会常連の浜松西が相手だ。昨年12月の練習試合では1－1の引き分け。DF河野通之主将（2年）は「チャンスを作れていたし、勝てる見込みはある。今まで通りにやって県大会に行きたい」と力を込めた。【神谷亮磨】

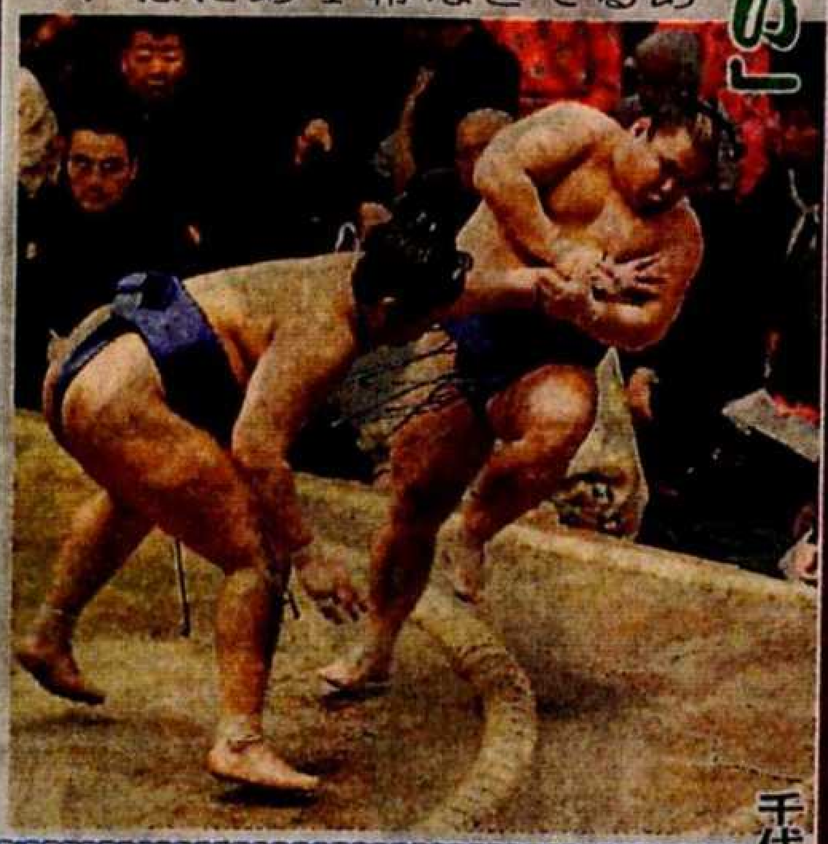
7年ぶりの県大会出場を狙う浜松城北工イレブン

大相撲初場所

礎牙司2敗も「しゃあない」

◇18日◇6日目◇東京・両国国技館

静岡県三島市出身で西十両2枚目の礎牙司（31＝入間川）が、東十両2枚目の千代の国（22＝九重）に敗れ、4勝2敗となった。立ち合いから激しい突っ張り合いになったが、相手の勢いを止めきれず後退してしまった。それでも「しゃあないです。体も動いているし、気持ちもしっくりきている。こういう感じでいきたい」と落ち込む様子はない。同じ三島市出身の西幕下3枚目・栃飛龍が2勝1敗で、十両に近づきつつある。6歳下の同郷の後輩に刺激を受けている礎牙司は「負けないように、お互い頑張りたいです」と話した。



千代の国（左）に突き倒される礎牙司

◆大相撲初場所◆

郷土力士の星取表

静岡

【十両】				123456
西2	礎牙司㉛	（入間川＝三	島）	○○○●○●
【幕下】				
西3	栃飛龍㉕	（春日野＝三	島）	や○●や○や
東14	翔傑㉟	（放駒＝伊	豆）	○や●●や○
【三段目】				
東9	栃港㉕	（春日野＝焼	津）	や●や○や●
西39	香富士㉔	（三保ケ関＝沼	津）	○や○●や●
東61	遠州洋⑳	（北の湖＝磐	田）	や●や●や●
西63	大翔若㉖	（追手風＝伊	東）	○や●や○や
【序二段】				
西22	浜東㉓	（玉ノ井＝浜	松）	や●○やや●

【注】やは休み

◆移籍 J1磐田は18日、FWハン・サンウン（26）が韓国の蔚山現代に完全移籍すると発表した。また、MFロドリゴ・ソウト（29）は契約を満了、既にブラジルに帰国している。現在、移籍先との交渉を進めている。

三島錦田中

広瀬夏季

自慢のパワーで貢献誓う

ソフト女子NTS中学生優秀選手 台湾遠征

ソフトボール女子のNTS（ナショナルトレーニングシステム）中学生優秀選手が21～26日まで、台湾遠征を行う。昨年8月の全国中学大会でベスト8入りした三島錦田中の広瀬夏季（3年）が参加。今回で3年目の同遠征に県勢が選ばれるのは初めてだ。小学校時代に全国優勝を経験した逸材が、全国のトップ選手17人に名を連ねた。

県勢初選出

昨年末、広瀬が自宅に帰ると荷物が届いていた。胸に「JAPAN」のロゴがついた台湾遠征用のユニホームだった。すでに選出の通知は受け取っていたものの、ユニホームを手にすると実感が増した。「うれしいという他に何もない。すぐに着ました」と笑顔で振り返った。

錦田中では投手左右2枚看板の右腕かつ4番として活躍した。3年生8人のうち広瀬を含めた6人は、小6の時に静岡EAST MAXで春の全国大会優勝、夏は準優勝と世代を極めた逸材ぞろい。広瀬らがレギュラーとなった中1の秋から3年の夏まで、県内の公式戦を無敗で駆け抜けた。全中には2年連続で出場し、それぞれベスト16とベスト8。特に昨年夏の広瀬は10打数10安打と打［不鮮明］好調で、あらためて［不鮮明］を全国にアピール［不鮮明］

そんな能力の持ち［不鮮明］も、昨年11月のNT［不鮮明］会では「受からない［不鮮明］た」という。他の投［不鮮明］べ「スピードも変化［不鮮明］成度も違った」と差［不鮮明］つけられたからだ。［不鮮明］されメンバー入り。［不鮮明］征では「ランナーがい［不鮮明］強く低い打球でかえ［不鮮明］い」と自慢のパワーで［不鮮明］献を誓い、父清則さ［不鮮明］との自主トレーニング［不鮮明］む。さらに「これから［不鮮明］何をすれば上（のレベ［不鮮明］でできるかを考えなが［不鮮明］りたい」と続けた。

まだ15歳。「これか［不鮮明］っと基礎体力や判断力［不鮮明］けて、U－19代表には［不鮮明］で選ばれたい。配球な［不鮮明］で考えられるように［不鮮明］いと」と成長を期す。［不鮮明］先は―。上野由岐子投［不鮮明］を擁し金メダルを獲得［不鮮明］北京大会を最後に、ソ［不鮮明］ボールは五輪の種目か［不鮮明］外された。「なくなる［不鮮明］いた時はえ～って思っ［不鮮明］ど、一番の目標は実業［不鮮明］やることです。もちろ［不鮮明］日本代表にもなりたい［不鮮明］けど」。複雑な思いは［不鮮明］ものの、大好きな競技［不鮮明］く続けることが何より［不鮮明］びだ。「打球の飛距離［不鮮明］るさは誰にも負けませ［不鮮明］金の卵が世界に向けて［不鮮明］いさつ代わりのプレー［不鮮明］露する。【石原正二［不鮮明］

台湾遠征用のユニホームを着た広［不鮮明］

◆広瀬夏季（ひろせ・なつき）1997年（平9）8月21日、三島市生まれ。小3で静岡EAST MAXに入りソフトボールを始める。［不鮮明］

24面にも静岡特集 天気22面 テレビ24、25面

…ロスポーツ、アーティスト以外）・問い合わせは〒104・8055東京都中央区築地3の5の10日刊スポーツ新聞社フォトサービス☎03・5550・8831・受け付けは平日の午前11時～午後7時・お申し込みは現金書留…